

ブロードコム (AVGO)

【セクター】 半導体

信買

【市場】 NASDAQ

信売

【企業概要】

米半導体大手。無線・ブロードバンド通信向けの半導体、AI半導体、ソフトウェアを手掛けます。幅広い IP（知的財産）ポートフォリオを有して無線通信向け半導体に強みがあり、アップルをはじめとする大手ハイテク企業に半導体を提供しています。部門別売上構成比（2025年10月期）は半導体ソリューションが58%、インフラストラクチャー・ソフトウェアが42%です。地域別売上構成比（2025年10月期）は米国が26%、中国が17%、シンガポールが17%で、その他地域が40%です。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

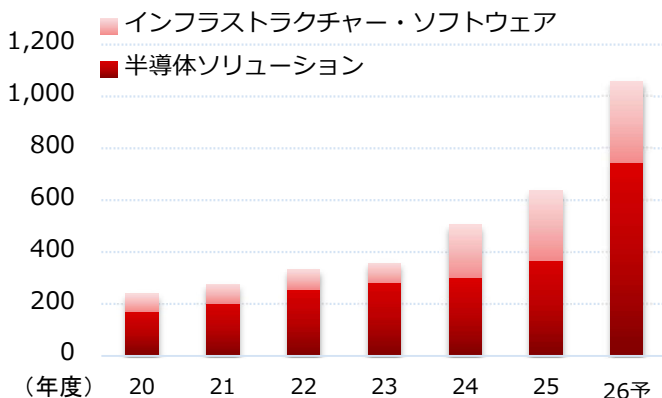
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
24.10期	51,574	23,733	4.87	2.11	14.4	12.9	40.9
25.10期	63,887	33,728	6.82	2.36	17.2	31.0	47.5
26.10期（予）	105,958	57,380	11.64	2.60	23.6	56.0	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

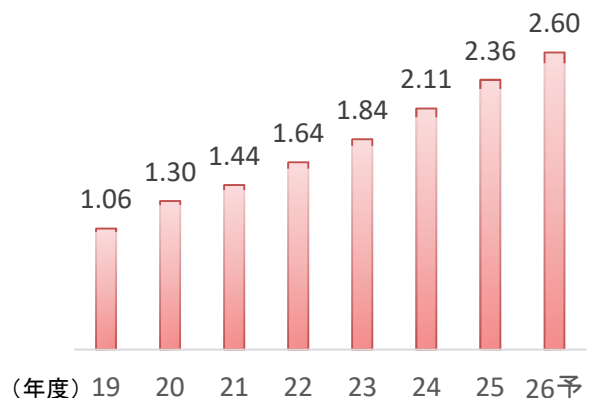
【主要指標】

部門別売上高の推移（億ドル）



（出所）BloombergデータよりSBI証券作成

1株当たり配当推移（ドル）



（出所）BloombergデータよりSBI証券作成

【会社の見方】

主力の半導体ソリューション部門は、かつてはスマホ向けなどの通信用半導体が中心でした。しかし、ここ数年でAI関連の売上が急増して部門売上の8割近くを占めるにいたっています。インフラストラクチャー・ソフトウェア部門は、2023年に買収した仮想化ソフトウェアのVMウェアが売上の7割を占める見込みです（2026年10月期の市場予想）。注目のAI関連では、アルファベット、メタ、アンソロピック、OpenAIを含む主要6社向けのAI半導体の売上が急増しています。また、生成AIの計算需要の拡大を背景に、データセンター内外で使われるネットワーク半導体の需要も拡大しています。同社はアルファベットが設計したAI半導体「TPU」を10年以上にわたって供給してきた実績があります。

【見通し・注目点】

5-7月期決算は、売上が前年同期比86%増、調整後EPSが同96%増となり、いずれも市場予想を上回りました。一方、8-10月期の売上がガイダンスを約348億ドルとして、市場予想の351億ドルをやや下回りました。同社のAI半導体の顧客は、従来、アルファベットが中心でしたが、アンソロピックやOpenAIなどへ広がっており、AI半導体の売上は2026年10月期が580億ドル、2027年10月期が1,150億ドル、2028年10月期が2,300億ドルと、急拡大する見通しが示されました。

本レポートに関するご注意事項

- ・ご紹介する個別銘柄及び各情報は、投資の勧誘や個別銘柄の売買を推奨するものではありません。
- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD（くりっく株365）、店頭CFD取引（SBI CFD）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じるおそれがあります）。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

株式会社SBI証券 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号、商品先物取引業者
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人日本STO協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会